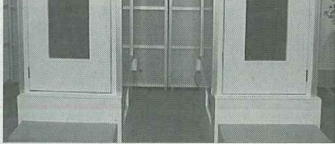


そこで昨年度は、鳩山由紀夫前首相や小沢鋭仁・前環境大臣はじめ関係する諸官庁に対し、議定書に掲げる温室効果ガスに溶剤を含めるよう求めるとともに、溶剤リサイクル法の具体化、環境ビジネスへの技術開発支援、算出の根拠となるデータベースの整備など陳情した。

一方、同工業会も陳情するだけにとどまらず

日本建築仕上材工業会との協賛セミナー「遮熱塗料(高日射反射率塗料)

今年で11年目を迎える、国際的なオーガニック専門見本市「BioFach Japan」オーガ



遮熱効果が体感できるブースも設置

31日午後2時から東京都港区浜松町の港区立エコプラザで開かれ、オーストラリア大使館による特

「こんな方法で溶剤が処理され、それが何トンあるか算出し、その結果をもとに、各業種・事業所に見合った処理方法の紹介、提案を始めていく」(事務局)という。リサイクルが進めば大量のCO₂発生につながる燃焼処理を削減でき、政府が取り組む2020年までに25%の削減に大きく貢献できる。

開催される。内容は「高日射反射率塗料に関する研究報告」田村昌隆(日本建築仕上材工業会)、「大阪府のヒートアイランド対策への取り組みと最新情報」玉城淳也(大阪府)、「大阪HITEC認証制度について」三木勝夫(三木コーティング・デザイン事務所)。参加費は無料、定員は50人で、締め切りは7月8日(金)。

の最新情報セミナー」が、7月13日午後2時から大阪塗料ビル7階会議室で

オーガニック EXPO 出展募集説明会開く

ニックEXPO2011が11月1日から3日間、東京ビッグサイトで開かれる。

日本が広くオーガニックに目覚め、変わるべき時だとの思いを込め、今年テーマを「チェンジ・チャレンジ・ニッポン!」日本がオーガニックに目覚めるとき」に決めた。



出展募集説明会が5月31日午後2時から東京都港区浜松町の港区立エコプラザで開かれ、オーストラリア大使館による特

別セミナー「オーストラリアの食品産業と自然災害」やオーガニックEXPO活用セミナーなどもあり、多くの関係者が集まった写真。

見本市会場には、有機認証あるいはBioファ独自の基準をクリアした製品を集めるオーガニックエリアゾーン(オーガニック・フードギャラリ、オーガニックコックンストリート、ウエルネス・パラー)と、ナチュラルやエコ製品・非認証製品を集めた「ナチュラル&エコプラザ」が設けられる予定。

問い合わせは日本塗料工業会・普及広報部(☎03・3443・2011)まで。

担当者は「食」はもとより、ファッション、コスメ、リビング関連の「衣」「住」まで幅広い分野のオーガニック・ナチュラル・エコ事業者を募集しています。昨年は入場者が予想以上に多く、販路拡大につながったという出展社が多くありました」と話す。

出展料は、スペースのみ1小間(9㎡)で3万7500円、ベシックスタンドつきで42万5250円、フル装備のスタンドつきで47万2500円。また、エコノミーパッケージ(6㎡、ベシックスタンド込み)で24万6750円となっている。

詳細は、オーガニックEXPO事務局(☎03・5369・6788)まで。